

映画『舟を編む』

の監修も務めた

三省堂辞書出版部部長 兼
大辞林編集部編集長



入場無料

山本康一氏 講演会

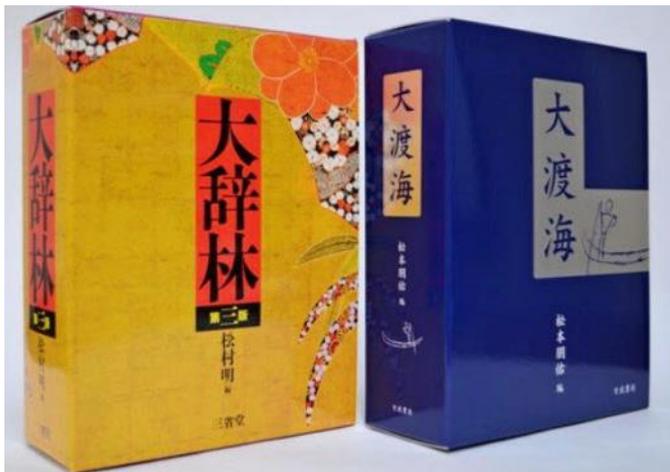
主催：法政大学大学院人文科学研究科国際日本学インスティテュート専攻

辞書と日本語 ～漕ぎ手の一人として考える～

【概要】 三浦しをん『舟を編む』（2011年 光文社刊）は、2012年に本屋大賞を受賞、2013年に映画化され、翌年の日本アカデミー作品賞を受賞するなど大きな話題になりました。時間をかけて作り上げる「モノづくり」と、辞書編集者という「黒子（くろこ）」の二つを軸に描かれる、「国語辞書制作」という素材の意外性も、ヒットの一要因だったかと思われます。つまり、「こんな仕事があるのか」という驚きでしょうか。確かに、「辞書編集」という仕事は、その過程と内容がよく見えないブラックボックスかもしれません。この機会に「国語辞書とは何か」「どうやって作られるのか」「辞書に載せる言葉と意味とは何か」「産業としての辞書」「辞書の未来」等々、辞書に関するあれこれの話題をお話してみたいと思います。

5/27(土) 16:50～19:30

外濠校舎 S406 教室



映画『舟を編む』に出てくる辞書『大渡海』は、三省堂の『大辞林』がモデルになっている。山本さんは、昨年放送されたアニメ版『舟を編む』の監修も担当し、辞書作りや編集室の様子などをアドバイスされた。

【講師プロフィール】 山本康一（やまもとこういち）1966年高知県生まれ。東京大学文学部卒業。93年三省堂入社。『大辞林 第二版』『例解小学国語辞典』『20世紀世界紛争事典』などの編集に携わる。2000年からウェブ辞書「三省堂 Web Dictionary」の立ち上げに関わり、辞書のデータベース化や制作ワークフローの改善にも従事する。2010年から大辞林編集部編集長に就任。TV出演なども多数。